

令和2年第1回臨時会（7月21日、22日）

予算特別委員会教育公安分科会
（予算議案審査関係資料）

令和2年7月21日

教 育 委 員 会

目 次

総務課

- ・（新）県立学校オンライン授業環境整備事業 1
- ・（新）私立高等学校学習環境改善事業 2

幼保推進課

- ・（新）保育所等新型コロナウイルス感染症対策関連事業 3
- ・私立幼稚園整備費補助金 4

義務教育課

- ・（新）オンライン学習支援推進事業 5
- ・（新）児童生徒の学びの保障推進事業 6

高校教育課

- ・e-AKITA ICT学び推進プラン事業 7

特別支援教育課

- ・教育的ニーズに応じた特別支援学校施設等整備事業 9

保健体育課

- ・（新）学校給食食材費補償事業 10
- ・（新）全国大会代替地方大会開催支援事業 11

(新) 県立学校オンライン授業環境整備事業

教育庁総務課

1 目的

I C Tの活用による学びの充実を推進し、併せて災害等による臨時休業にあっても学びの保障を図るため、オンライン授業に係る教員の研修環境等を整備する。

2 概要

I C T研修用に総合教育センターに次の機器を整備

- ・タブレットP C (50台)
- ・ビデオカメラ (3台)
- ・ワイヤレスマイク (3本)
- ・H D M I 等接続アダプタ (3セット)
- ・三脚 (3台)
- ・W i - F i ルータ (50台×2か月分)

※家庭への貸出可能

3 補正予算額

3, 244千円 (⊖3, 244千円)

内訳	・ 需用費	244千円
	・ 役務費	600千円
	・ 備品購入費	2,400千円

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

(新) 私立高等学校学習環境改善事業

教育庁総務課

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業のために生じた学習の遅れを取り戻すとともに、進路目標の達成に向けて生徒が学習に集中できる環境を整備するため、高校3年生の普通教室に冷房設備を設置する経費に助成する。

2 概要

- ・補助対象者 県内に高等学校を設置している学校法人
- ・補助対象経費 3年生の普通教室における冷房設備の設置費用
- ・補助率 県1/2
- ・補助上限額
 - ・エアコン購入経費：1教室当たり1,000千円
 - ・電気配線設備工事費等：1校当たり2,500千円
- ・適用日 令和2年4月1日（4月1日以降に設置した経費）

3 補正予算額

- 9,750千円（ \ominus 9,750千円）
- ・私立高等学校学習環境改善費補助金 9,750千円
（3校12教室分）
- ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

(新) 保育所等新型コロナウイルス感染症対策関連事業

幼保推進課

1 目的

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、マスクや消毒液、空気清浄機などの購入及び対策を徹底するための職員研修の実施など、教育・保育を行う上で必要な経費に助成する。

2 概要

- ・実施主体 県
- ・補助率 国10/10
- ・補助上限額 500千円（1施設当たり）
- ・補助対象 376施設
（保育所196、幼保連携型認定こども園77、認可外保育施設等103）
- ・適用日 令和2年4月1日（4月1日以降の購入等に要した経費）

3 補正予算額

188,000千円（**①**188,000千円）

- ・保育所等保健衛生用品整備事業費補助金 188,000千円

私立幼稚園整備費補助金

幼保推進課

1 目 的

幼稚園、幼稚園型認定こども園における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、マスクや消毒液、空気清浄機などの購入及び対策を徹底するための職員研修の実施など、教育・保育を行う上で必要な経費に助成する。

2 概 要

- ・実施主体 県
- ・補助率 国10/10
- ・補助上限額 500千円（1施設当たり）
- ・補助対象 33施設（幼稚園19、幼稚園型認定こども園14）
- ・適用日 令和2年4月1日（4月1日以降の購入等に要した経費）

3 補正予算額

16,500千円（**①**16,500千円）

- ・幼稚園保健衛生用品整備事業費補助金 16,500千円

(新) オンライン学習支援推進事業

義務教育課

1 目的

学校におけるICTの活用を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波による再度の臨時休業に備えるため、児童生徒や教員がオンライン学習に活用できるポータルサイトの構築や、オンライン授業の円滑な導入に向けた教員研修を行う。

2 概要

(1) オンライン学習ポータルサイトの構築

小・中学校の授業等におけるICTの日常的な活用の促進や、家庭におけるオンライン学習を支援するためのポータルサイトを構築する。

＜ポータルサイトの主な内容＞

- ・学校の授業や家庭学習で活用できる学習教材
- ・ICTを活用した家庭学習の進め方、教員向けオンライン授業の進め方
- ・市町村教育委員会等が作成した授業動画 等

(2) オンライン授業スタートアップセミナーの開催

効果的なオンライン授業の実施に向けた教員のスキルアップを図るため、小・中学校の教員がオンライン授業の実施に必要な機器の操作方法や活用方法を学ぶセミナーを開催する。

＜実施方法＞

外部講師を活用したセミナーを各市町村ごとに複数回実施

3 補正予算額

8,488千円 (⊖8,488千円)

内 訳

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) オンライン学習ポータルサイトの構築 | 3,004千円 |
| (2) オンライン授業スタートアップセミナーの開催 | 5,484千円 |

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

(新) 児童生徒の学びの保障推進事業

義務教育課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症対策と児童生徒の学習保障の両立を図るため、学校の指導体制の充実に必要な人的体制を整備する。

2 概 要

(1) 小・中学校非常勤講師配置事業

夏季休業中に授業を実施する学校に配置されている非常勤講師に、当該期間中の報酬等を措置する。〈配置人数：100人程度〉

(2) 学習指導員配置事業

これまでの臨時休業による学習の遅れを取り戻すに当たり、児童生徒をきめ細かく支援する学習指導員を新たに配置する。〈配置人数：90人程度〉

※県教育委員会がハローワーク等を通じて募集

(3) スクール・サポート・スタッフ配置事業

校内の換気や消毒、健康観察の取りまとめなどの感染症対策をはじめ、感染症の影響により増加した教職員の業務を支援するスクール・サポート・スタッフを新たに配置する。〈配置人数：90人程度〉

※県教育委員会がハローワーク等を通じて募集

3 補正予算額

108,445千円 (国 34,266千円 県 12千円 市 74,167千円)

内 訳

(1) 小・中学校非常勤講師配置事業 7,972千円

(2) 学習指導員配置事業 67,506千円

(3) スクール・サポート・スタッフ配置事業 32,967千円

※一般財源には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

e-AKITA ICT学び推進プラン事業

高校教育課

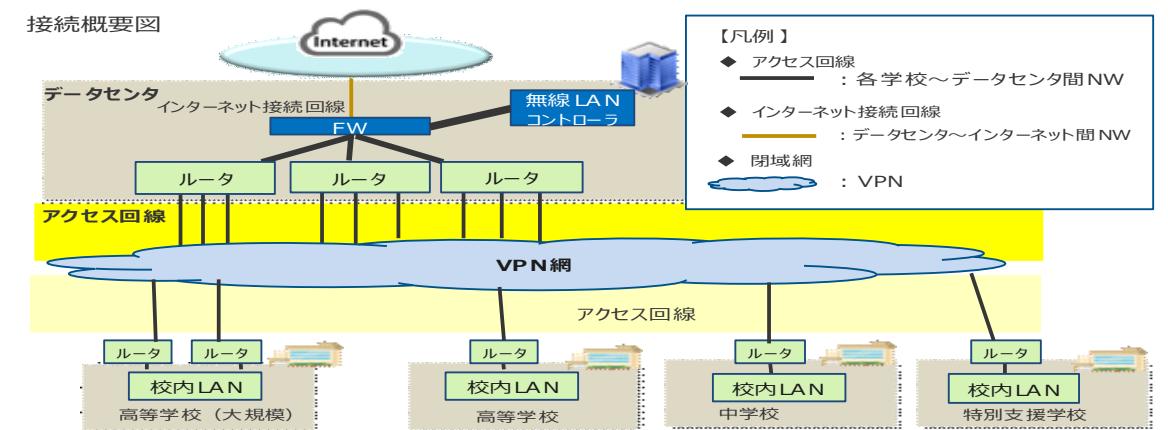
1 目的

思考力、判断力、表現力等を身に付け、社会を生き抜く力と高い志をもって秋田を支える人材を育成するため、教育においてICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用を図ることができるよう、県立学校のICT環境を整備する。

2 概要

- ・ 1人1台タブレット端末の購入
(高校19,822台、特別支援学校高等部598台)
- ・ 大型提示装置、実物投影機の購入
(高校612台、特別支援学校28台、県立中学校22台)
- ・ 電源キャビネットの購入
(高校387台、特別支援学校高等部15台)
- ・ インターネット接続方式の整備 (データセンタ構築)
機器(無線LANコントローラ、FW、ルータ等) 153,915千円、構築費55,482千円

データセンタ構築後のネットワーク回線について



3 補正予算額

1,567,626千円 (⊖1,567,626千円)

内訳 ・ 委託料 (データセンタ構築) 209,397千円

・ 備品購入費 (タブレット端末等) 1,358,229千円

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

「新しい生活様式」に対応した教育活動の実現

1人1台端末による充実した教育活動

【端末を自分専用の学習ツールとして活用】

- ◆ すぐに使えるよう机上に常備
- ◆ 登校後の健康調査への回答
- ◆ 疑問点をいつでも検索
- ◆ デジタル教科書としての活用

【様々な場面で端末を活用】

- ◆ 専門的な実験を動画で体験
- ◆ 図形を3Dソフトで立体化
- ◆ 運動の様子を動画で撮影

【学校間や世界をオンラインで結ぶ】

- ◆ 探究活動のオンラインミーティング
- ◆ 本校・分校間の遠隔授業
- ◆ 海外の高校生とオンラインによる交流



臨時休業等の緊急時における端末の活用

- ◆ 端末を家庭に持ち帰ることによるオンライン授業の実施
- ◆ オンラインによるホームルーム活動や生徒会活動の実施
- ◆ 文部科学省のホームページ「子供の学び応援サイト」など、様々なコンテンツを活用した学習支援
- ◆ 端末を活用した確認テストやアンケート調査の実施
- ◆ 家庭で学ぶ生徒と分散登校で学ぶ生徒を同時につなぐオンライン授業
- ◆ オンラインによる大学・短大・専門学校の説明会や企業説明会への参加



教員研修の充実

- ① 令和2年度から3年間、ICT活用推進委員（6名）による教員研修会を実施。また、研修に参加した教員による校内研修会を全ての県立高校で実施。
- ② 各校の校長の任命によるICT活用推進リーダー（各校1名）を中心としてICTを活用した組織的な授業改善を推進。
- ③ 令和3年度からICT活用推進モデル校を指定し（3校、2年間）、研究成果を全県各校で共有。
- ④ 総合教育センターの研修講座や指導主事等の学校訪問により、教員のスキルアップを支援（5～10月）。
- ⑤ 県内大学や情報関連産業機関等との連携による校内研修会を推進。



目指す
教員の姿

【令和2年度】
ICTの活用方法を積極的に
学ぼうとする教員

【令和3年度】
ICTを積極的に
活用する教員

【令和4年度】
ICTを自在に扱い
授業に生かす教員

教育的ニーズに応じた特別支援学校施設等整備事業

特別支援教育課

1 目的

e-AKITA ICT学び推進プラン事業における端末整備に伴い、障害のある児童生徒が1人1台端末を効果的に活用できるよう、一人一人に応じた入出力支援装置を整備する。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、引き続き特別支援学校のスクールバスを増便し、乗車する児童生徒の少人数化を進める。

2 概要

(1) 特別支援学校スクールバス整備事業

乗車する児童生徒が特に多い経路にバスを各1台購入して増便する。

- ・能代支援学校：大型1台、横手支援学校：小型1台

(2) ICT端末等導入推進事業

障害のある児童生徒が情報機器端末の活用にあたって必要となる入出力支援装置を整備する。

- ・点字ディスプレイ、音声読み上げソフト、視線入力装置、スイッチ式ジョイスティック等

(3) 特別支援学校スクールバス感染症対策事業

登校時に乗車する児童生徒が特に多い経路に、バスを各1台借り上げて増便する。

- ・継続 能代支援学校：大型1台、天王みどり学園：小型2台、ゆり支援学校：小型1台、稲川支援学校：大型1台
- ・新規 横手支援学校：小型1台
- ・期間 令和2年8月26日～令和3年3月21日

3 補正予算額

71,690千円 (⊕5,532千円 ⊖66,158千円)

(1) 特別支援学校スクールバス整備事業	36,174千円
内 訳	
・自賠償保険料	31千円
・バス運行委託料	2,458千円
・バス購入費	33,603千円
・自動車重量税	82千円
(2) ICT端末等導入推進事業	5,532千円
内 訳	
・消耗品費	2,730千円
・備品購入費	2,802千円
(3) 特別支援学校スクールバス感染症対策事業	29,984千円
内 訳	
・バス借上料	29,984千円

※一般財源には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当予定

(新) 学校給食食材費補償事業

保健体育課

1 目的

令和2年3月2日から春休みまでの、県立学校の臨時休業に伴う給食の休止により食材納入業者に生じた損失を補償する。

2 概要

- ・補償対象

学校が既に発注していた食材のうち、事業者において破棄せざるを得なかった材料費相当額

- ・補償対象者

食材納入業者（パン、牛乳、米飯）

- ・補償割合

10 / 10（国3 / 4 県1 / 4）

3 補正予算額

263千円（~~197~~千円 \ominus 66千円）

※国の補助金は全国学校給食会連合会に一括交付され、同連合会が学校設置者（県）に補助金を交付する。

(新) 全国大会代替地方大会開催支援事業

保健体育課

1 目 的

部活動の全国大会の中止を受けて開催される地方大会の運営経費等の助成を行い、開催を支援する。

2 概 要

・補助対象者

秋田県高等学校体育連盟、秋田県高等学校野球連盟

・補助対象大会

県高体連主催：秋田県高等学校体育大会

県高野連主催：2020秋田県高等学校野球大会

2020秋田県高等学校軟式野球大会

・補助対象経費

大会開催運営経費（会場借上料、審判員、医師・看護師謝金等）

感染予防対策経費（保健衛生用品等）

・補助額

定額（国10／10）

3 補正予算額

4,350千円（④4,350千円）

内 訳	・ 県高体連	2,000千円
	・ 県高野連	2,350千円

